

農林水産商工常任委員会資料

(令和4年10月12日)

項 目

ページ

- 物価高騰対策セミナーの実施状況について

【商工政策課】…………… 2

商 工 労 働 部

物価高騰対策セミナーの実施状況について

令和4年10月12日
商工政策課

エネルギー、原材料はじめ諸物価の高騰が続く中、県内事業者を対象に、補助・融資等による支援、専門家サポート窓口による相談体制整備に加え、物価高騰対策のノウハウを専門家や事例等から学ぶセミナーを開催しているところです。

本セミナーは、令和4年5月補正予算における総合緊急対策の一事業として、「円安・物価高騰対策専門家サポート窓口」の運営委託先である一般社団法人鳥取県中小企業診断士協会に委託して実施しているものです。

1 「物価高騰対策セミナー」開催日程等

(1) 開催方法

オンライン開催（全日程とも午後7時～8時）

(2) 日程・テーマ・講師

第1回 9月27日(火) 「物価高騰に対し、自社が取り組むべき課題を発見する！」

兵庫県立大学大学院 社会科学研究所 経営専門職専攻 教授 秋山 秀一 氏

第2回 10月11日(火) 「デジタル活用で、生産性を高めよう！」

(株)ワンダーラスト 片山 正業 氏

第3回 10月25日(火) 「スケールメリットを活かして環境変化に立ち向かう！」

鳥取県中小企業団体中央会

第4回 11月10日(木) 「自社の価値や商品価値を高めるブランディングとは？」

(株)ユーミックプロデュース

代表取締役 渡貫 久 氏



(3) 第1回セミナー開催概要

ア 9月27日(火)開催 「物価高騰に対し、自社が取り組むべき課題を発見する！」

兵庫県立大学大学院 社会科学研究所 経営専門職専攻 教授 秋山 秀一 氏

イ 参加者 20人（飲食業、小売業、サービス業、建設業、酒造業、金融機関等）

ウ 概要等

物価高騰の現状について、以下説明・解説がなされ、今後の行動についてのヒントが示された。

- ・物価高騰を、月別価格動向、物価指数の推移などから定量的に把握することが重要。
- ・時間軸を当面の課題と中長期的課題に分けて考えることがポイント。
- ・当面の対策は省エネ機器や情報システム導入などが効果的だが、中長期的には「代替できない価値」を提供し、コスト上昇を価格に反映させて利益確保を目指すことを意識することが必要。等

エ 参加者の主な感想

- ・まだ実際の対応はできていないが、店舗での店頭販売価格引上げ検討の必要性を考え始めるきっかけとなった。
- ・お客様に「ありがとう」と言ってもらうために色々試行錯誤することはワクワクする。物価高騰対策であっても、結局必要なことはそういうことと感じた。
- ・第一回は幅広い話だった。次回以降の話も楽しみにしている。

2 今後の取組等

今後の開催回では、今議会において提案中の、物価高騰に対する前向きな取組を支援する「新型コロナ・円安・物価高騰対策支援補助金」の申請に参考となる事例紹介も予定しており、補助金の周知と併せて、本セミナーについても周知していく。

なお、今議会には、「円安・物価高騰対策専門家サポート窓口」の受付時間延長等も追加提案しているところであり、セミナーからサポート窓口での個別相談に、より誘導ししやすい体制を構築することとしている。